

2026年度 海洋理工学会春季大会

【6月11日(木)】

12:00- 受付開始

13:00-17:50 シンポジウム @日本科学未来館 7階 コンファレンスルーム水星・火星・金星

12:00-17:50 企業展示 @日本科学未来館 7階 コンファレンスルーム水星・火星・金星 前
※企業展示会場にて、ドリンクのサービスあり

シンポジウム「環境問題に技術で向き合う ～その式：海洋CO₂除去～」

13:00-13:10 趣旨説明／大会委員長 兼 コンビナー
鶴島 修夫 (国立研究開発法人産業技術総合研究所)

13:10-13:55 基調講演

mCDRとしての鉄散布肥沃化(OIF)計画

本多 牧生 国立研究開発法人海洋研究開発機構 地球環境研究部門 地球表層システム研究センター
海洋生態系変動研究グループ

13:55-14:30 S1.

相模湾における炭素隔離機能の長期変動：セジメントトラップ観測からの知見

三野 義尚 名古屋大学 宇宙地球環境研究所 基盤研究部門 陸域海洋圏生態研究部
／名古屋大学大学院環境学研究科

14:30-15:05 S2.

海洋ネガティブエミッション技術としての海洋アルカリ度増進

鈴木 淳 国立研究開発法人産業技術総合研究所 地質情報研究部門 地質調査総合センター
海洋環境地質研究グループ

15:05-15:25 休憩 【賛助会員7社 企業展示コアタイム@コンファレンスルーム水星】

15:25-16:00 S3.

海中レーザーCO₂計測が拓く脱炭素への貢献

染川 智弘 公益財団法人 レーザー技術総合研究所 レーザー計測研究チーム
兼レーザープロセス研究チーム
／大阪大学 レーザー科学研究所

16:00-16:35 S4.

海藻養殖におけるフリー配偶体の有用性と課題 一衰退する藻場の機能補完に向けて一

澤山 周平 国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産資源研究所 社会・生態系システム部
沿岸生態系暖流域グループ
兼 水産技術研究所 沿岸生態システム部 温帯浅海域第一グループ

16:35-17:10 S5.

日本製鉄の北海道における海の森づくり

宮 架蓮 日本製鉄株式会社 技術開発本部 先端技術研究所 環境基盤研究部

17:10-17:20 休憩 【賛助会員7社 企業展示コアタイム@コンファレンスルーム水星】

17:20-17:50 総合討論

パネリスト : シンポジウム講演者 コンビナー : 鶴島 修夫

18:15-20:15 イブニングセッション @日本科学未来館 7階 展望ラウンジ

賛助会員による企業展示:

株式会社ハマ、株式会社鶴見精機、ミサゴ株式会社、日油技研工業株式会社、いであ株式会社、
JFEアドバンテック株式会社、株式会社 amuse oneself (企業紹介順・敬称略)

【 6月12日(金) 】

9:30- 受付開始

10:00-16:50 一般講演 @日本科学未来館 7階 コンファレンスルーム火星・金星コンファレンスルーム水星・火星・金星

9:30-16:00 企業展示 @日本科学未来館 7階 コンファレンスルーム水星
※企業展示会場にて、ドリンクのサービスあり

一 般 講 演

9:55-10:00 趣旨説明／大会委員長 兼 コンビナー
鶴島 修夫 (国立研究開発法人産業技術総合研究所)

10:00-11:20 海洋観測、探査技術 座長：小松 大祐 (東海大学)

A1. テザー拘束下における ROV 操縦・音響観測評価のための統合シミュレータ

○小石 明 (アジア海洋株式会社)

A2. 海底掘削孔内での傾斜観測における設置工法が観測初期安定性に与える影響

○西田 周平・辻 修平・横引 貴史・荒木 英一郎 (海洋研究開発機構)

A3. 藻場における CO2 吸収量のグリーン LiDAR を使った計測事例

☆秋葉 陽向 (株式会社 amuse oneself)

A4. ベーリングの探検について

○秋葉 龍郎

11:20-11:50 賛助会員 7社 企業紹介

株式会社ハマ、株式会社鶴見精機、ミサゴ株式会社、日油技研工業株式会社、
いであ株式会社、JFE アドバンテック株式会社、株式会社 amuse oneself (紹介順・敬称略)

11:50-13:00 昼休憩

13:00-14:00 海洋計測、モニタリング技術 座長：後藤 忠徳 (兵庫県立大学)

A5. AUV のステーションドッキングにおけるステレオカメラの妥当性について

☆長野 和則・増田 殊大・川島 昇悟・田岡 智・小田崎 壺成・木川 栄一 (いであ株式会社)

A6. 海中での電流送受信データへの信号分離技術の適用

☆渡辺 光瑠・後藤 忠徳 (兵庫県立大学)、Chin-Wen Chiang (National Taiwan Ocean University)、Shu-Kun Hsu (National Central University)

A7. 水中 IoT カメラを用いた連続観測と AI による魚類検出・種分類システムの開発

☆野城 菜帆 (東京大学大学院新領域創成科学研究科 / 株式会社 MizLinx)、水野 勝紀 (東京大学大学院新領域創成科学研究科)

14:00-14:15 休憩

14:15-15:15 生態系モニタリング 座長：畑 恭子（いであ株式会社）

- A8. 干潟・藻場創生と栄養塩流入が東京湾の生物生産と気候変動緩和に及ぼす影響
☆上中 佑真・相馬 明郎（大阪公立大学大学院工学研究科）
- A9 水質-低次生物-高次生物の繋がりから見た 東京湾生態系の資源変動解析に向けたモデル構築
☆畑 智大（大阪公立大学大学院工学研究科）、今田 理久（いであ株式会社）、児玉 圭太・近都 浩之・堀口 敏宏（国立環境研究所）、相馬 明郎（大阪公立大学大学院工学研究科）
- A10. 炭酸塩パドックス解明に向けた水槽デジタルツインモデルの基盤構築
☆伊藤 樹生、渋谷 尚（大阪公立大学工学研究科）、山内 康太郎・加藤 由悟・鈴木 道生（東京大学大学院 農学生命科学研究科）、相馬 明郎（大阪公立大学大学院工学研究科）

15:15-15:30 休憩

15:30-16:50 海洋環境動態・生態系評価 座長：相馬 明郎（大阪公立大学）

- A11. From 2D to 3D: Semantic Segmentation Integrated with Structural Complexity Metric Prediction to Resolve Coral Morphological Composition and Habitat Characterization
☆李 伯恒（東京大学）、Guan-Yan Chen (Hawai'i Institute of Marine Biology, University of Hawai'i at Manoa, Kaneohe, HI, USA)、Katsunori MIZUNO (Department of Environment Systems, Frontier Sciences, The University of Tokyo, Japan)
- A12. 日本海メタンハイドレート胚胎域の物質循環と底生生物の関連性
☆太田 雄貴、青柳 智・堀 知行・清家 弘治・鈴木 淳・塚崎 あゆみ・鈴木 昌弘（国立研究開発法人産業技術総合研究所）、向井 稜（株式会社日本海洋生物研究所）
- A13. 沿岸域におけるマイクロプラスチック運命予測モデルの開発
☆吉武 珠穂・石川 百合子・堀口 文男・内藤 航（産業技術総合研究所）
- A14. 海底下 CCS の海洋モニタリングにおける pCO₂ センサーの活用
○鶴島 修夫（産業技術総合研究所）、佐藤 徹（東京大学）鈴木 勇也・市川 好貴・三木 周（日本エヌ・ユー・エス）、岩本 篤志（紀本電子工業）

16:50-17:05 学会賞 表彰（優秀発表賞は、プログラム☆発表者が選考対象）

17:05-17:10 閉会／会長 川口 勝義（国立研究開発法人海洋研究開発機構）
